



## 森林ボランティア 「オホーツクの会」だより No.16

### オホーツクの森づくりの開催



7月23日、「オホーツクの森づくり」を開催し、オホーツクの森で森林の手入れ作業を行いました。作業した箇所は、平成19年度からボランティア団体等がカミネツコン植樹をしたところで、植栽木が大きく成長したものや被圧され成長が妨げられているものなど様々でした。

参加者は総勢39名で、植栽木を保護するために設置していた鹿等食害防止シート（パオパオシート）の補修とシート内とその周辺の草取りなど環境整備を行いました。

午後からは、佐呂間町幌岩山遊歩道において森林散策を楽しみました。数種類のイチヤク草を見ることが出来る天然林を散策しながら、サロマ湖が一望できる頂上展望台までいくと雄大な景色が広がっており、涼しい浜風に身をまかせながら、しばし見とれていました。

また、参加者の中には以前この幌岩山で植樹したことがある方もいて驚きました。“次回もぜひ参加したい”との声もあがるなど楽しい1日となりました。





森づくり(周辺の草刈り)



森づくり(シート内草刈り)



森づくり(シート内草刈り)



熊の痕跡発見



森林散策



森林散策



幌岩山展望台



幌岩山展望台からの風景

## 植林ボランティアに参加して

日本赤十字北海道看護大学 1年 入江美来

私は植林ボランティアに参加するのが初めてでした。ボランティアに参加する前までは、植林は木を植えるというイメージで、木を植えたら、勝手に大きくなって森になると思っていました。しかし、今回のボランティアを通して、草刈や草取りの作業があることを知り、とても勉強になりました。木を植えた後に草取りをしたりして手をかけていくことで森の一部になっていくのだと実感しました。

私は、草取りを担当しました。最初は簡単だと思っていましたが、実際作業しようとする、どれを切ったり、抜いたりしたら良いのかわかりませんでした。私は、間違えて植えた木を切っしまい、とても申し訳ない気持ちになりました。次回の植林に参加する際には、自分で判断できないことやわからないことは積極的に他の参加者の方に聞いて、確認してから作業をしたいと思います。そして今よりも知識を増やしてから植林に参加したいと思います。



最後に、私は今後も積極的に植林に参加していきたいと思っています。木が徐々に大きくなっていく過程を見ていきたいです。

## “森づくり参加ありがとうございました”

自然の森林は、永い年月をかけてその土地の気象条件等に最も適した状態へ変化し続け、やがて安定した自然生態系となります。

一方、高い木が倒れたり、枯れたりして明るい環境ができ、たくさんの光が注ぐようになると、今まで大きな木の下でずっと耐えてきた小さな木は成長を早め自然競争しながら、やがて大きなひと固まりの森林になります。

私たちが山に木を植える時、陽のあたる環境を作り植樹をしますが、そのまま放置すると周辺の植物が繁茂し、やがて植えた木を覆ってしまいます。

植えた木がひとり立ちするまでは成長を妨げる周辺の植物を取り除く作業が必要です。

しかし、私たちは林業の専門家ではありませんので、その作業すべてをすることは難しいですが、手入れをした木が今後どのように成長していくか観察し続けることが森林を理解し、森林の大切さ、自然環境に配慮した未来につながる森林づくりを考えるきっかけになるものと思います。

今後もボランティア活動を通して自然の素晴らしさや保全の大切さを広げる活動を進めていただきたいと思います。

事務局長 吉田



## 第1回自主的活動「森の家」周辺草刈

去る6月27日、ふれセンの栄・佐々木自然再生指導官指導の下、ボランティア会員4名(鞆師会長、長谷川副会長、吉田事務局長、飯岡氏)が草刈を行いました。

草刈場所は「森の家」周辺と近隣の散策路で、緑の山々に包まれた環境のなか小川のせせらぎや小鳥の声を聞きながら心地よい汗を流しました。

作業は、手鎌の刃を研ぐ新しい電動研磨機が活躍したこともあり、思っていたよりも早く午前中に終わりました。

昼食は「森の家」で森の話など和やかな一時を楽しみました。“午後からも作業をしたい”との声もありましたが、初回であり午前中で終了することにしました。

今回の体験からもっと広い面積の草刈ができる自信が湧きました。午後は飯岡さんが以前発見したクマゲラの営巣を“そっと”観察し帰路につきました。

当会が森林ボランティアの活動にあたり「森の家」を利用させていただくためにも今後とも整備を続けていきたいと思っています。



## オホーツクの森・探検隊

8月5日、ふれセンとの共催でオホーツクの森・探検隊を行いました。

内容は子供達だけでグループを作り決められたコースを探検し、チェックポイント毎に何かあったかを隊長(藤生所長)に報告するものです。

探検では子供達の安全を見守る役としてふれセンとオホーツクの会から「森の番人」を配置しました。

「森の番人」はガイドをすることはできませんが、たまには“あれ！キノコがある”などひとり言のようにつぶやく場面もありました。

探検終了後は樹木の枝を利用したターザンロープ、ブランコ遊びや薪切り体験、コースターや竹とんぼ作り、休憩所では葉っぱのアート、木粘土、箸づくりが行われました。

普段自然の中で遊ぶことが少ない子供達にとって自然の森の探検は多くのことを学ぶきっかけになりその魅力を体験することができたと思います。



アイスブレイク



森林探険



ターザンロープ



ブランコ、薪切り

## 森林探検で育まれる信頼関係(第1号)

森林の中での活動は、日常の生活と異なる環境にあるため不便さを感じ、時には危険を伴うこともあります。

本来、人は弱い動物であり、身の周りに危険があればそれを乗り越えるために仲間同士で相談し協力し合って危険を回避してきました。

このような環境下におかれるとお互いを気遣う心が自然に育まれやがて信頼関係が築かれていくこととなります。

仲間とともに試行錯誤しながら目的を達成できた時の感動は一人では味わうことのできない達成感となります。

通常、私たちは自分を守るために「心の壁」を作っていますが、時にはその壁が障害になって、周りからの情報が閉ざされてしまい、そのため、上手くコミュニケーションをとることができなくなることがあります。 第2号へ続く

## 紅葉と落葉

紅葉は日最低気温が約 8℃以下になる頃から始まるといわれています。ところで、気温は標高100mにつき0.6℃下がるので紅葉は標高の高い山頂から始まり麓へと進みます。

一方、湖岸や渓谷など環境の違いによっても紅葉の時期やその美しさも異なります。そこでは美しく紅葉する樹木でも庭に移植すると必ずしも同じようになるとは限らないのです。

秋が深まり紅葉条件に適した季節を迎えると、樹木本体と栄養や水分などのやり取りをしている葉の付け根部分が閉ざされる。

葉が黄色に見えるのは、葉の中で緑色のクロロフィルの分解が起こるためです。

葉が赤く見えるのは、葉に残された糖類が関係しています。

葉が褐色に見えるのは、細胞液中のタンニンが酸化するためといわれています。

なお、落葉樹は冬の休眠状態に入る前に落葉しますが、それに先立って葉に残されたタンパク質などの栄養分を枝や根に回収し翌春に備えます。

地表に落葉した葉にも有機物が含んでおり微生物によって分解され土壌が形成されますので“森には無駄なものがない”といわれるのも分かるような気がします。







## 第2回自主的活動

今回は新たな散策ルートを切り開くため全長約0.3Kmの踏みわけ道を草刈します。

なお、現地までは各自または乗り合わせの車両で集合(弁当持参)、作業に必要な道具はふれセンが用意してくれます。

### 具体的な日程

9月17日(土)「森の家」 9:00 集合、14:00解散

### 参加申し込み

常呂川森林環境保全ふれあいセンター 9月14日(水)まで

### その他(懇親会)

午後:焼肉懇親会(会費500円程度を予定)

## 第3回森づくり塾

10月1日(土)開催

### 参加申し込み

常呂川森林環境保全ふれあいセンター 9月26日(月)まで

## 緑のセンター展示会に参加

期	間	10月1日～16日(休館日10月3日、10月11日を除く毎日)
場	所	北見市緑のセンター内研修室他
内	容	テーマ“もっと森を知ろう”国際森林年記念パネル展
主催団体等		北海道森林事務局北見事務所・常呂川森林環境保全ふれあいセンター・知床森林センター・森林ボランティア「オホーツクの会」

当会では森林ボランティア活動の紹介・入会勧誘を行う予定で、ネイチャークラフト展示なども計画しています。

また、長谷川さんの竹とんぼづくり体験や、マイ箸づくり、種子とばし等を行う予定ですので都合の付く方はぜひお手伝い願います(10月2日、10月9日、10月16日の各日曜日、午前10時から午後1時頃まで)

なお、会員の皆様にはテーマに即した出品を募集しています詳しくはふれセン事務局にお問い合わせください。





(オンネトー)

## 秋の森林散策会について

～紅葉とエメラルドグリーンのオンネトー湖岸を歩こう～

火山活動の影響を受けながら永年かけて形成されたオンネトーとその周辺をとりまく天然林を散策する。

- (1)実施日：平成23年10月8日(土)
- (2)場所：阿寒国立公園 オンネトー 白湯山
- (3)主催：森林ボランティア「オホーツクの会」、  
常呂川森林環境ふれあいセンター
- (4)参加予定：会員30名、一般募集20名
- (5)スケジュール：常呂川森林環境保全ふれあいセンター発 9:00  
オンネトー散策(森林散策)  
白湯山展望台(頂上付近までバス)  
阿寒エコミュージアムセンター(見学)  
常呂川森林環境保全ふれあいセンター着 16:00

参加申し込み

常呂川森林環境保全ふれあいセンター 9月30日(金)まで

お問い合わせ



2011・国際森林年

北海道森林管理局  
常呂川森林環境保全ふれあいセンター内

森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

050-3160-6321

FAX 0157-23-2472

平日8:30~12:00 13:00~17:15